

2016年8月26日

東日本旅客鉄道株式会社

総合防災訓練の実施について

- JR東日本では、8月30日からの「防災週間」を中心に、総合防災訓練を実施します。
- 本社総合防災訓練では、都心南部を震源とするM7.3の地震を想定し、情報収集等の初動対応訓練を本社、支社及び現業機関が連携して実施します。
- 訓練は以下の内容を中心に実施します。
 - ・ 本社及び各支社等における対策本部の設置・運営訓練
 - ・ 社員及びその家族の安否確認訓練
 - ・ 各現業機関における実動訓練（救助・救命訓練、避難誘導訓練、初期消火訓練等）
- 自治体等と連携した訓練も実施します。

訓練は以下の要領で行います。

1 日 時

2016年9月1日（木）を中心とし、本社及び各支社にて設定

2 訓練の想定

本社及び東京、横浜、八王子、大宮、千葉（以下、東京圏）の各支社においては、対策本部の設置・運営訓練を行います。訓練は「7時00分に都心南部を震源とするM7.3の地震が発生し、東京圏で全面的に運転中止となり、列車脱線や駅舎一部倒壊により多数の人的被害が生じている」という想定で行います。また、一部駅においては、東京圏の路線が広範囲で長時間にわたり運転中止となる地震発生を想定し、駅に滞留したお客さまの誘導訓練等を行います。

東京圏以外の支社においては、各支社管内での大地震発生を想定した訓練を行います。

3 主な訓練内容

① 本社・各支社対策本部の設置・運営訓練

- ・ 発災直後、本社対策本部を高崎支社に設置し、初動対応訓練を行います。
- ・ 本社対策本部に関わる社員は、本社ビルへの非常参集を行います。本社ビルの体制が整った段階で高崎支社に設置した対策本部を本社に引き継ぎます。その後、当日任意に選ばれた社員で情報収集・集約訓練を行います。
- ・ 東京圏各支社対策本部に関わる社員は、各支社ビルに非常参集を行います。体制が整った段階で、支社対策本部を設置し、限られた社員で情報収集及び状況報告等を行います。
- ・ 本社対策本部と支社対策本部との間で、衛星電話等の非常用通信設備をはじめとした多様な手段を活用して、被災状況の情報伝達や救助派遣指示等を行います。

② 安否確認訓練

- ・ 全社員を対象とし、社員及びその家族の安否確認訓練を実施します。

③ 非常参集訓練

- ・ 本社及び東京圏支社の社員が、勤務箇所や最寄り駅等の予め定められた箇所へ非常参集を行います。
- ・ 最寄り駅に非常参集する社員は、駅で開催する実動訓練等に参加します。

④ 救助・救命等の実動訓練

- ・ 駅を中心とした現業機関においては、お客さまの避難誘導、救助救命、初期消火等の実動訓練を実施します。また、一部、自治体等と連携した訓練も実施します。

4 主な訓練の実施箇所

各支社において、実動訓練を実施します。詳細は別紙をご参照ください。

2016年度総合防災訓練の主な実施箇所

支社	実施箇所	日時	参加数	訓練内容
東京	東京支社管内全般	9月1日(木) 7:00～13:00	約2,000人	都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、社員並びに家族の安否確認訓練、非常参集訓練、対策本部設置・運営訓練、及び本社・現業機関と連動した情報伝達訓練を実施します。
	東京総合車両センター構内	9月1日(木) 7:00～13:00	約100人	都心南部を震源とするM7.3の地震で列車が脱線したことを想定し、現地対策本部を設置し、お客さま救済並びに脱線復旧を行う訓練を実施します。なお、現地対策本部は、支社対策本部及び消防署と連携して対応を行います。列車の脱線については、実際の車両を脱線させ、その復旧にあたります。
	池袋駅	9月1日(木) 10:00～12:00	約200人	都心南部を震源とするM7.3の地震が発生し、駅地下構内店舗より火災発生並びに改札内で負傷者が発生したことを想定し、社員、グループ会社及び関係協議会等と合同で初期消火訓練、重傷者搬送訓練、及び避難誘導訓練を実施します。地上では救助・救命訓練(AEDの取扱いを含む)、煙ハウスによる避難体験、及びハシゴ車による高所体験等を消防署の指導により実施します。
横浜	横浜支社管内全般	9月1日(木) 7:00～13:00	約4,500人	都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、社員並びに家族の安否確認訓練、非常参集訓練、対策本部設置・運営訓練、及び本社・現業機関と連動した情報伝達訓練を実施します。
	茅ヶ崎運輸区構内	9月1日(木) 9:00～11:40	約150人	都心南部を震源とするM7.3の地震により走行中の列車が脱線し緊急停止したことにより、列車内でお客さまが負傷されたことを想定し、安全な場所への避難誘導、並びに茅ヶ崎市役所、市民及び近隣の高校の協力を得て消防署による救助・救命訓練を実施します。
	横浜支社～東京支社	9月15日(木) 9:00～14:00	約35人	都心南部を震源とするM7.3の地震発生に伴い、東京支社管内の被害が甚大となり全ての陸上交通及び主要幹線道路の寸断により陸路からの応援ができないことを想定し、提携している船舶会社の船を活用し海上からの社員の応援派遣を行う訓練を実施します。
八王子	八王子支社管内全般	9月1日(木) 7:00～13:00	約450人	都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、社員並びに家族の安否確認訓練、非常参集訓練、支社対策本部設置・運営訓練、及び本社・現業機関と連動した情報伝達訓練を実施します。
	各現業機関	8月30日(火)～ 9月5日(月)	約200人	大地震により発生しうる被害を各職場で想定し、対応並びに役割分担について議論・再確認を行う机上訓練、並びに実動訓練を実施します。
大宮	大宮支社管内全般	9月1日(木) 7:00～13:00	約500人	都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、社員並びに家族の安否確認訓練、非常参集訓練、支社対策本部設置・運営訓練、及び本社・現業機関と連動した情報伝達訓練を実施します。また、災害用衛星通信車載局をさいたま新都心駅に出勤させ、現地と大宮支社対策本部との情報伝達訓練を実施します。
	さいたま新都心駅構内	9月1日(木) 9:50～11:00	約150人	さいたま新都心駅構内において、列車が地震で停車し、負傷されたお客さまがいることを想定し、消防署、警察署、及びD-MAT等の協力を得て、救助訓練並びに列車内のお客さまを降車させる避難誘導訓練等を実施します。
	さいたま新都心駅	9月1日(木) 10:00～11:00	約50人	地震の発生により列車の運行が途絶したことを想定し、さいたま新都心駅に発生した帰宅困難者を一時滞在施設であるさいたま市合同庁舎1号館まで駅社員が誘導する訓練を実施します。
高崎	高崎支社管内全般	9月1日(木) 7:00～11:00	約300人	都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、本社と連動した情報伝達訓練を実施します。その後、社員並びに家族の安否確認訓練、非常参集訓練、対策本部設置・運営訓練、及び現業機関と連動した情報伝達訓練を実施します。また、NTT並びに自社回線が一時不通となった場合を想定し、衛星携帯電話、タブレット端末、及びWiMAX2+を使用し、情報伝達訓練を実施します。
	各現業機関	8月30日(火)～ 9月5日(月)	約200人	前橋地区指導センターでは現地対策本部を設置する訓練を実施します。また、その他の現業機関では、災害発生時の役割等の確認を実施します。
水戸	水戸支社管内全般	9月1日(木) 7:00～12:00	約300人	茨城県沖を震源とする震度6弱の地震により駅舎や線路の被害が発生したことを想定し、72時間以内で最大限の救助・救命活動を実施するために、社員並びに家族の安否確認訓練、非常参集訓練、及び支社対策本部設置・運営訓練等を現業機関、地区及び支社が一体となって実施します。
	土浦、水戸、いわきの各地区及び水郡線営業所	9月1日(木)～ 9月3日(土)	約240人	支社対策本部と各地区間の情報伝達訓練、各駅から支社対策本部への画像転送訓練及び救助・救命訓練(AEDの取扱いを含む。)を実施します。また、実際の車両を使い、列車内のお客さまを降車させる避難誘導訓練等を実施します。(水戸線・福原駅構内)
千葉	千葉支社管内全般	9月1日(木) 7:00～13:00	約800人	都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、社員並びに家族の安否確認訓練、非常参集訓練、支社対策本部設置・運営訓練、及び本社・現業機関と連動した情報伝達訓練を実施します。
	木更津駅周辺の現業機関	9月1日(木) 7:00～10:00	約70人	地震の影響で木更津駅構内の列車が脱線し、道床陥没、電化柱傾斜、及び踏切鳴動持続が発生したと想定して、木更津駅周辺の各現業機関が合同で訓練を実施します。木更津駅に現地対策本部を設置し、支社対策本部への情報伝達訓練並びに列車内のお客さまを降車させる避難誘導訓練等を実施します。
仙台	仙台支社管内全般	9月1日(木) 7:00～12:00	約4,000人	宮城県沖を震源とする震度6強の地震が発生し、仙台支社管内で列車が停車、並びに駅設備に被害が発生したことを想定し、社員並びに家族の安否確認訓練、非常参集訓練、初動対応マニュアルに基づいた訓練、及び支社対策本部設置・運営訓練を実施します。
盛岡	盛岡支社管内全般	9月1日(木) 7:00～15:00	約1,400人	岩手県内陸を震源とする震度6強の地震発生を想定し、社員並びに家族の安否確認訓練、非常参集訓練、支社対策本部の設置・運営訓練並びに情報伝達訓練を行います。JRビル自衛消防隊による防火防災総合訓練については机上による訓練を実施します。
	青森、八戸、盛岡、北上、一ノ関の各地区及び釜石駅、気仙沼駅	9月1日(木) 7:00～15:00	約900人	駅構内で負傷されたお客さまの救助・救命訓練、初期消火訓練、エレベーターからの救出訓練、帰宅困難者の一時避難場所への誘導訓練、クイックラダー設置訓練及び踏切鳴動持続時対応訓練を実施します。設備関係では、仮設電源設置訓練、高所作業車及びレールスターの操作訓練、列車防護訓練、並びにレール切断・穴あけ訓練を実施します。
秋田	秋田支社管内全般	9月1日(木) 7:00～12:00	約600人	秋田県中央部を震源とする震度7の地震発生を想定し、社員並びに家族の安否確認訓練、非常参集訓練、情報伝達訓練、支社対策本部設置・運営訓練、並びに災害用備蓄品・初動対応マニュアルの確認等を実施します。
	秋田駅構内	9月1日(木) 7:00～12:00	約200人	秋田駅構内裏5、裏6番線において、秋田市など関係自治体と連携したお客さま救助や列車脱線復旧訓練などの実動訓練を実施します。
新潟	新潟支社管内全般	9月1日(木) 7:00～14:00	約550人	新潟支社管内の震源とするM7.0の地震発生を想定し、社員並びに家族の安否確認訓練、非常参集訓練、支社対策本部設置・運営訓練、情報伝達訓練、及び駅間に停車した列車への対応訓練を実施します。
	酒田、長岡、新津、新潟の各地区	9月1日(木) 7:00～12:00	約250人	駅ではお客さまの避難誘導訓練を実施すると共に、駅間で停車した列車で負傷したお客さまがいることを想定し、消防署と協力した列車からのお客さま救済訓練を実施します。また駅から支社対策本部へのタブレット端末等による情報伝達訓練並びに画像転送訓練を実施します。
長野	長野支社管内全般	9月1日(木) 7:00～12:00	約350人	長野支社管内各地で震度7の地震発生を想定し、社員並びに家族の安否確認訓練、非常参集訓練、限られた要員での支社対策本部設置訓練、非常用通信設備を使用した情報伝達訓練、及びエレベーターからの救出訓練等の初動対応に重点を置いた訓練を実施します。また、長野県危機管理部と情報を共有するために、数名の情報収集要員を県対策本部に派遣します。
	小海、上諏訪、松本、信濃大町、長野の各地区(ブロック)	9月1日(木) 7:00～12:00	約250人	情報連絡拠点を設置し、支社対策本部並びに被災した駅との衛星携帯電話等を使用した情報伝達訓練、被災箇所からの画像転送訓練、非常参集者を被災した駅へ応援派遣する訓練、お客さま避難誘導訓練、及び救助・救命訓練を実施します。また、関係消防署と連携した初期消火訓練並びに119番通報訓練を実施します。